

議員が ただ 質した 平成28年度 当初予算 199 のこと

Heisei 28th Initial budget Question

今回の3月定例会で、もっとも審議に時間をかけたのが、新年度予算のこと。議員が予算書をチェックして行なった質疑はなんと199！

残念ながら紙面の都合ですべて載せられないのですが、ピックアップして25項目をお知らせします。

すべての項目はインターネットからご覧いただけます。「小川町議会 会議録」で検索してみてください。
※今定例会の会議録は5月末ごろから見られます。



第3子以降の保育料無償化 「ママもひと安心」

子育て・教育

Q 第3子以降の保育料の無償化は。

A 多子世帯における保護者の経済的な負担の軽減と少子化の改善を図るため、3人以上の子どもを養育している家庭で、第3子以降0・1・2歳のお子さんの保育料を無償とします。

Q 奨学金制度の拡充が図られるが、6年制になった薬科大学への対応は。

A 対応していきたいと考えます。
QA 小中再編に係る研究会及び検討委員会の内容と、開催回数予定は。

A 研究会は、全7回を予定し、学識者・経験者等に再編を行うことに関するメリット・デ

応するものを検討しています。

医療・介護

Q 地域包括ケアシステム③の構築には、地域で高齢者を見守り支え合う体制・仕組みづくりが急務である。今後の取り組みは。

A 地域で見守るといふ観点から考えると、あまり大きい規模

ではなく、なるべく小さいサークル的な活動がよいと考えています。公民館事業等の各種教室を卒業された方々が独自にサークルをつくって活動しているような事例もあるので、連携等できれば、地域でお互いに支え合う仕組みにつながるのではないかと考えています。

Q 医療と介護の連携に必要な

メリットを話し合っていたいただきます。また検討委員会は全12回を予定し、地域等直接関係のある方々と、実践に向けた議論をしていきたいと考えています。
Q 放課後子ども教室の設置は。また、放課後の子どもたちの居場所づくりという観点で、学童クラブとの連携は。

A 平成31年度までに6小学校のうち、3校に開設を予定しています。「生活の場」としての学童クラブと、「学びと体験の場」としての放課後子ども教室が連携できるよう考えていきます。

Q 平成31年度までに6小学校のうち、3校に開設を予定しています。「生活の場」としての学童クラブと、「学びと体験の場」としての放課後子ども教室が連携できるよう考えていきます。

サービスとして、定期巡回・随時対応サービスへの取り組みは。

A 現在、当町にない定期巡回・随時対応サービス等の事業は、今後も検討する必要性を認識しています。

Q ジェネリック医薬品の普及

率と今後の普及方法は。

A 県内町村平均は58・7%で、町の普及率は57・7%です。今後の普及率の向上に向け、新たにジェネリック医薬品利用希望カードやシールを配布し対応します。

訓練も備蓄品も いざという時の備えです



安全・安心

Q 消防団第2分団第4部の旧詰所の解体に合わせて、救助や避難等の訓練を実施することはできないか。

A 解体中の建物を活用して、瓦れきからの救出訓練等の実施を消防署へ提案します。

QA 災害用資機材の購入とは。緊急避難場所に指定している各所の充実を図ります。また現在、高谷地内の防災倉庫に集中している備蓄品の分散を考えています。

Q ため池の耐震点検の計画は。

A 平成27年度は16カ所を予定していましたが、国の方針で補助金が得られず中止となりました。平成28年度は9カ所のみ耐震点検を行ない、必要に応じて改修します。

Q 交通安全対策事業において、子どもたちの安全と、高齢者が加害者・被害者にならないような対策を進めなければいけないのでは。

A 関係各課が通学路の対策を進めています。また、高齢者への啓発等は各地区の老人会等の団体を通じて行なっています。

「ICT」という言葉を聞いたことがありますか？
Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー) の略で、一般的には「情報通信技術」と訳されます。町の平成28年度予算に計上された500万円は、中学校へのタブレットPC導入や校内LANの整備などに使われる予定です。皆さん、ご期待ください！



役場前広場の池で泳ぐおさかな!!



(A・Tちゃん・2歳(代弁者:母))

仙元山見晴らしの丘公園・展望台から望む夜景♥



(A・Tさん・32歳)

Mini Column
オガワマチのこと Part.1
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川のどこが好き？」

解説 地域包括ケアシステム③

介護が必要になった高齢者が、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の5つのサービスを一体的に受けられる支援体制のこと。

解説 タブレットPC②

薄い板状の本体に、タッチして操作が可能な液晶画面が組み込まれたパソコンのことです。キーボードやマウスがなくてもタッチ操作で使いやすいようにできており、持ち運びがしやすく、あらゆる所で使えるのが特長です。